

2012. 11. 23-25 上ホロ氷雪入門 早川航



こんな世界とか、こんな景色とか、山岳会に入る前から少なからず憧れていた。今、北稜に入りお世話になりつつ、半年たった。新しい世界に足を踏み入れるチャンスだと思った。だから、秀SALEで装備を何から何まで揃え

多額の投資をした。金をかけたからには、登らないわけにはいかない。そして遂に雪が降った。ヤルゾ、そんな気持ちになり、日に日にモチベーションが湧いてくる。そんな日が続き、上ホロ氷雪入門の日がきた。

メンバー：L DZさん 旧人 いでっち 新人 ばやかわ

12/22(木)

23:30札幌発。事務所でガソリンを補充。三笠経由で上富良野へ向かう。運転を交代し、駅までいき、前泊。先客あり。

12/23(金) [シーズン初めは要注意]

起床。晴れている。パッキング、着替えを完璧にさあ出発！と思いきや、DZさんがソワソワしている。なんと、火器類を事務所に置き忘れてきたようだ。ガソリン補充の時にブチまけてその処理に追われて肝心の缶を放置してきたようだ。火のことに困ったら消防署だ！ととっさに思いつき、消

防署に向かい火器類は無いかと詰め寄るが有るはずもない。ベストムでガス缶を買うが一時間ロス。シーズンはじめは忘れ物に注意。

多くの登山客で賑わう十勝岳温泉からいよいよ出発。夏はフリークライミングに力をいれていたの
で久しぶりの重装備&重荷の行動で慣れない。この日は僕のための訓練日。スタンディングアック
ス、歩行、滑落停止など、一通り終え、火口へ。段々天気も荒れ吹雪いてきた。雪洞を掘りに、北
西稜付近へ向かう急な斜面を下降中に、ぱやかわ、いでっちが滑落！なんとか崖手前で止まる。リ
アル滑落停止訓練だった。クランポンの装着を煩ってしまったのがいけなかった。あとは、ホリホ
リTime。穴にテントを入れる。



12/24(土) [三段ルンゼ登攀。核心は下山]

起きて早々、火がつかない。どうやら入口が雪で塞がれたようだ。なんとか飯が喰えるだけの酸素
はあった。風はそれほどでも無いが、視界がない。

DZさん「上は厳しいかもしれないが、取り敢えず、三段ルンゼ取付まで進めよう。」

私の心の中「こうなったら、何が何でも登るんだろうなあ～、厳しそうだなあ～ヤダなあ」

付いていく。どうやら基部に到着。DZさんが偵察、後にピトンを打ち込む甲高い音が響く。



1P目はいでっち。二つほどの氷った滝を越える。ビレイ中にリードとフォローの役割を教えてもらう。リードは時間かかっていいからとにかく慎重に安全に。ビレイ点の構築はしっかり。フォローはテンションかけてもいいからとにかく早く、待たせてはいけない。

だそう。で、自分の番。それを聞いた自分、とにかく早く登らねば…。なんか焦りすぎて息上がり過ぎた。そして最初の滝でフォール。ロープに完全にテンションがはいってしまった。



2, 3, 4PはDZさんが難なく片付ける。

そしてピーク。視界は全くない。ピークに立つ喜びは一瞬。こんなに呆気ないピークは初めてかもしれない。すぐさま下降開始。D尾根から外れ、視界ないのでロープを出しながら下る。日も落ちてきた。風も強くなってきた。

これは、ビバーク覚悟かと思ったが、ロープ

の先のDZさんが見つけたぞーと叫んだ。尾根がわかった。安堵。途中からヘッドランプ点ける、暫くして硫黄の臭いがする。もう一度安堵。暗い中、噴火口に着いた。あんな状況の中、ルートファインディングしたDZさんに感心した。さすが百戦錬磨のクライマー、このあたりはかなり熟知しているようで、凄い。テントが二張あり、その風下に我々のテントを張らしてもらう、すいません。



11/25(日) [化け物岩右、新ライン]

起きて、この日は化け物岩右。

なんと、1Pは私がリードさせていただくことに。右の凹角を行き、左上して、狭い所を右上する。なまら緊張した。エイドの形跡あり、そこが核心なのか『決めたはずのアックスが外れかかり、落ちるかと思ったがなんとか抜けた。フリー頑張ったよかった。ビレイ点は糞でした。

2Pは雪田。

3Pはいでっち。好きなラインを行ったようだ。

クライマーは怖いけど、美しい方を行くんだ。
山野井の言葉より。

初め細かい立ち込みが難しいようだ。でも、フォローは楽。なんという差でしょうか。DZさんは、スティーブ・イデと褒め称えていた。

下降は懸垂50mロープで2P。上では個人山行で来ていた濱田に出会う。リードしていた立派だ。

帰りはスキー。車に着いて、無事に帰って来た一という、充実感と達成感が半端ない。いっきに何かが放たれたような、射精のような感覚と似ている。確かにこれは、やめられない楽しいクライミングだった。派手な世界にも地味な部分は必ずある。お付き合いして下さった御二方ありがとうございました。



翌日、がっつり鼻に凍傷を作ってしまいました。ちょうど眼鏡が当たるところで痛いです。